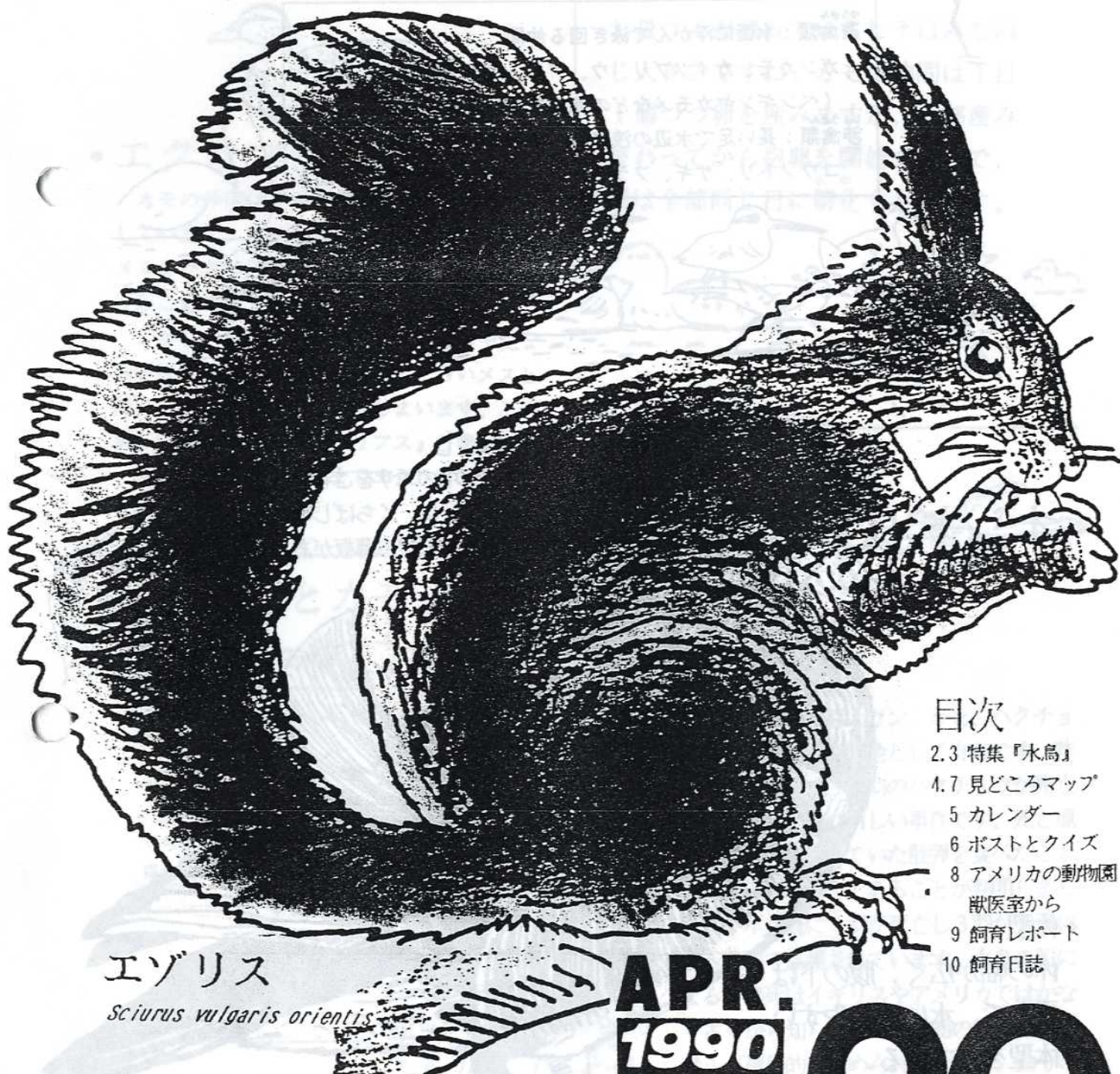




ASAHIYAMA ZOO NEWS

★モユク・カムイ
(アイヌ語でニゾタヌキのことです)

モユク・カムイ



エゾリス

Sciurus vulgaris orientis

**APR.
1990**

目次

- 2.3 特集『水鳥』
- 4.7 見どころマップ
- 5 カレンダー
- 6 ポストとクイズ
- 8 アメリカの動物園
獣医室から
- 9 飼育レポート
- 10 飼育日誌

昨年秋、旭山動物園生まれのエゾリスを園内に放しました。
近くの自然林にすみつき、冬の間毎日園内のエサ場に通って
きていました。雪の上に小さな足跡を残してゆきます。
雪も消え、今は姿を見せなくなりましたが、きっとどこかで
子育てに忙しいのでしょう。

NO. 20

今年の特集シリーズは『鳥』です

第一回目はガンとカモ（水鳥）の仲間です。

“水鳥”とは普通ガンカモ類を指しますが、広い意味では「水辺、特に内陸部の水辺で生活する中型以上の鳥類」をいいます。

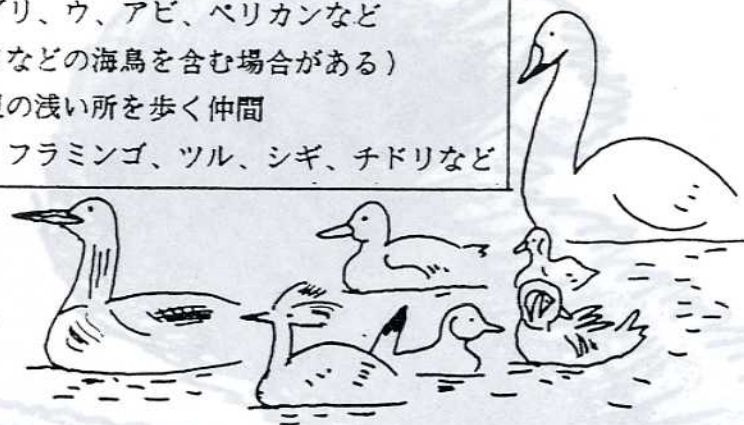
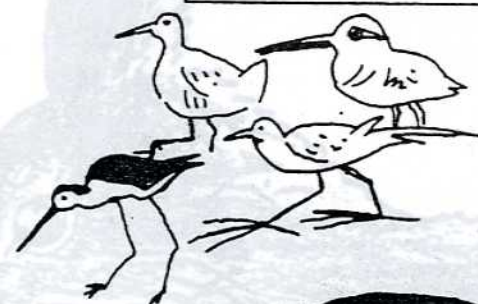
広い意味での“水鳥類”は生活の仕方次第の2つの型に分けられます。

遊禽類：水面に浮かんで泳ぎ回る仲間

ガンカモ、カイツブリ、ウ、アビ、ペリカンなど
（ペンギンやカモメなどの海鳥を含む場合がある）

渉禽類：長い足で水辺の浅い所を歩く仲間

コウノトリ、サギ、フラミンゴ、ツル、シギ、チドリなど



オシドリ

くちばし

水中のエサをこし取れるように、くちばしの両側にくし状の薄板がある。

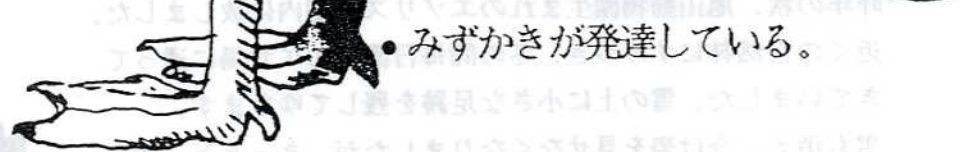


● 体型

体の幅が広く、腹の下は平らで、水に浮きやすい体型をしている。



● みずかきが発達している。



マガモ(雛)

● エクリプス

カモの仲間は普通オスの方が派手な羽色をしています。オスの目立つ色合いは繁殖期にメスを引きつけたり、外敵の注意を自分に向けることに役立ちます。

しかし、繁殖期がすぎると、その鮮やかな羽が抜け落ち、新しい羽が生えそろうメスと同じような色合いになってしまいます。この新しい羽の状態を『エクリプス』と呼びます

オスは次ぎの繁殖期までエクリプスのままです。



● ガンとカモ



	ガン	カモ
大きさ	大型	中～小型
首	長い	短い
くちばし	上下に厚い	左右に偏平
採食場所	草地	水面～水底

● ガンとカモの区別はそう明確ではありません。



マガモの親子

毎年春になると、道庁の池へ引越すマガモの親子のニュースが新聞やテレビをにぎわせます。カモは卵が孵るとヒナを連れて巣を捨ててしまいます。ヒナはお母さんの後について自分でエサを採って食べます。お母さんが連れてくるヒナはみな同じ大きさですね。カモの仲間は1日1個づつ卵を産みますが、全部産み終わってから抱卵を開始するので、卵は全部同じ日に孵化するのです。

鉛中毒

美唄市の宮島沼はガン、カモ、ハクチョウたちの渡りの中継地として有名です。昨年この宮島沼で33羽のハクチョウが死亡したことは記憶に新しい事件です。死亡原因は沼の底に沈んでいた散弾を食べたことによる“鉛中毒”であることが判明しました。今年も既に4羽が死亡し3羽が中毒による衰弱で保護されています。水鳥の鉛による中毒死はイギリスやアメリカではかなり古くから知られており、鉛の散弾の使用禁止が積極的に進められています。釣りの重りに使用される鉛さえも規制の対象とされているところもあります。残念ながら日本では、このような規制の動きはまだ全くありません。



① フラミンゴ:

ヨーロッパフラミンゴが新しく仲間入り。
3種18羽の群れになりました

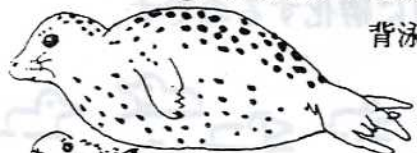


② 水鳥たち: 春は水鳥たちの季節。あちこちで卵を抱いたり、
ヒナを育てたり、大忙しです。



③ カピバラ: ちょっと寂しい春です。

④ アザラシ: 5頭全員元気に泳いでいます。
背泳のバサロ泳ぎは本家本元。



⑤ 小動物舎:
オセロットにそろそろ
赤ちゃんを期待しています。

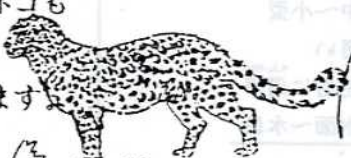
⑥ フライングケージ: 8種類のカモがいます。
だれがだれかわかりますか?



⑦ ワピチ: 広い林で1家族4頭がのんびりと。
今年も1頭仲間入りかな?



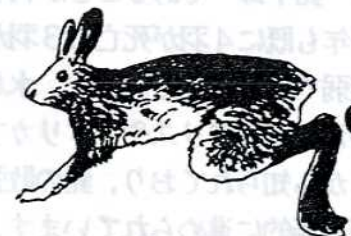
⑧ 小獣舎: シベリアヒョウもオオヤマネコも
立派なおトナになりました。
オオカミの遠吠えも聞こえます



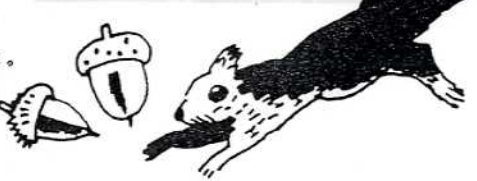
⑩ フクロウ: シロフクロウのオスは真っ白。
まるで“雪だるま”



⑪ ユキウサギ: 白い毛が抜けて、今はまだらなの!
エゾリス: もうすぐ、美しい褐色でスッキリ



⑫ 野鳥: アカゲラのドラミング。カケスのものまね。
キレンジャクのさえずり。
バードウォッチング入門コーナーです。



⑬ クジャクバト: ヒナがたくさん。

旭山どうぶつえん

みどころマップ

C 野外ステージ

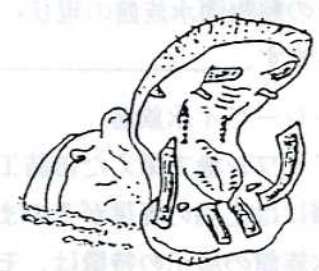
B 動物資料展示館

A 管理事務所・飼育事務所
東門

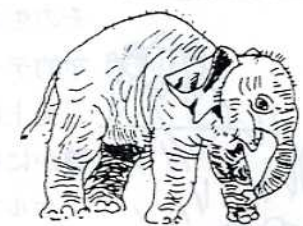
+ 動物病院



⑭ ワシ・タカ: ワシは大きな声。
クマタカは可愛い声。



⑮ カバ: 大きな口の中、
歯は何本あるかな?



⑯ キリン: 長いあし。長い首。
長いまつげ。長い舌。
長く見てね。



⑰ ゾウ: たくさん食べて、たくさん飲んで、
オシッコとウンコもたくさん。



⑱ ダチョウ・エミュー: 卵を置きました。アレ?!



⑲ ライオン・トラ: オシッコに注意!
お尻を向けて、しっぽを立てたら逃げて下さい。



⑳ ホッキョクグマ: 水飛沫に御注意!
プールにザブンと飛び込みます。



㉑ サルアパート: ボンネットモンキーは
兄妹でお母さんの取り合い。
リキにも兄弟がほしい頃。



㉒ チンパンジー: 4頭家族。



㉓ ゴリラ: オス、ゴンタ、只今200Kg。



㉔ フタコブラクダ: 今はぼろでも、もうじきすっきりします。



㉕ エゾシカ: 子ジカのバンビはどこ?
見つかるかな?



㉖ ツル: タンチョウは来園して2年目、
頭も少し赤くなり始めたようです。



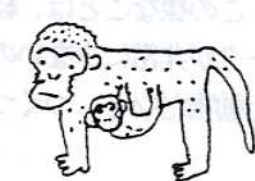
㉗ クジャク・キジ:



春、クジャクのオスも
パッと花を咲かせます。



㉘ サル山: 赤ちゃんを抱いたお母さんが何頭もいます。
全部見つけれられるかな?
ボスはすぐわかるよねえ。



★ 昨年10月、日本動物園水族館協会主催のツアーに参加して、北米の動物園水族館を視察する機会を得ました。2週間で西から東まで15園館を巡るというハードスケジュールでしたが、アメリカの動物園水族館の現状に触れることができました。以下訪問順にその印象を記してみます。

◎モンレーベイ水族館

かつてイワシ漁で栄えた缶詰工場跡の棧橋に、さびれた漁港の活性化を目的につくられ、隣には工場の廃屋がそのまま残っています。

この水族館の展示の特徴は、モンレー湾の海洋生物の実態をさまざまな角度から、その生息環境ごと展示して観せようという姿勢にあります。その基本にある確かな科学的データの積み重ねによる自信と理念を感じました。

見上げるような水深8mを越える背の高い水槽に巨大な海藻ジャイアントケルプが静かに揺れ、魚が群れています。

ケルプフォレストと名付けられたこの景観は、モンレー湾の一部をそのまま切り取ってきたような素晴らしさです。地味で脇役的な存在でしかなかった海藻を展示の主演にするという発想の転換が見事に成功して、観るものを強烈な印象で圧倒します。魚の餌付けをしているダイバーが実に小さな存在に見えました。

その他、モンレー湾の海底を岩場や砂場など4つの相に分けて環境展示したモンレーベイと名付けられた巨大水槽やタイドプールなど見飽きることがありません。

砂浜の波打ち際にチドリが遊び、奥の植栽の繁みではチドリが抱卵しており繁殖にも成功しています。ガラス越しにモンレー湾の海岸と家並を借景とし、深みには魚の群れをも観察でき、生態系が環境ごと理解できるよう展示にも工夫がされています。

ドーセントと呼ばれる教育を担当するボランティアが450人も登録されており、平日は30名、日曜日には90名くらいが水槽やタイドプール、ケルプラボラトリー等で入園者に実際に手を触れさせたり、ケルプ遊走子を顕微鏡で見せたりしています。まさに生物の学校、生きた博物館という感じがしました。

イルカやシャチ、アシカのショーが全くなく、スターのいないこの水族館が開園以来5年間で2000万人を越える入館者を記録し、今なお日曜日には礼止めさえあるという状況に深く考えさせられました。(カンノ)

念願の動物病院が完成しました。手術台、無影灯などが設置されて本格的に使用できるようになるのは5月の中頃になりそうです。

動物園で飼育している動物は、ほとんどが野生動物なので麻酔せずに直接触ったり、治療したりできません。何かあると麻酔をしなければならないのですが、例えば、同じシカの仲間のエゾシカとワピチでは、麻酔薬に対する感受性が全く異なります。又、個体によっても麻酔薬の必要量にかなりの差があります。この様なことは、経験によって学んでいかなければなりません。獣医学的な基礎データが非常に少ないのです。イヌやネコなどの家畜は人が飼いやすいように改良された動物だなど、つくづく感じさせられます。

麻酔に関するデータの集積、血液の細胞診、生化学検査などを積極的に行い、基礎データを集めていきたいと考えています。(坂東)

飼育研究レポート

旭山ZOO
の
言
記
金
赤

ゴマフアザラシ の人口哺育



3年前の春、長い冬が終わり雪解け水が動物園に春の訪れを告げ、開園ま近かとなった4月14日、ゴマフアザラシが赤ちゃんを産みました。お母さんは赤ちゃんを大切に育て、そのほほえましい姿に私も感激していた矢先、出産9日目でお母さんは急死してしまいました。急遽私がお母さんの代わりをしなければならなくなりましたが、アザラシの人口哺育の成功率は50%位です。不安でいっぱいでした。3人でチームを組み、エサはアザラシ用の特製ミルクとホッケを与えました。1人が体を押さえ、1人が口を開き、1人がエサを無理やり口の中に入れて飲み込ませます。私は口を開ける役をやりましたが、時々かじられて手に穴があきました。

小さいうちは1日2回の給餌も楽でしたが、40日を過ぎる頃から私たちの顔を見るとプールの中に逃げ込むようになってしまいました。きつと押さえ付けられてエサを無理やり飲まされるのがいやだったのでしょう。私たちは辛抱強くアザラシ君が陸に上がってくるのを待たなくてはなりません。しかし、30分待っても、1時間待ってもプールから上がる様子はありません。仕方ないのでプールの中に入ってアザラシ君を捕まえることにしました。プールに入ったのは2人、1人は陸にいて周りを見る役目です。私は当然プールの中、他のアザラシにかみつかれたらどうしようとやや不安でしたがアザラシはなんにもしませんでした。それよりも、すぐに私たちの計画の無謀さに気づきました。水の中でアザラシがつかまるわけがありません。どうしてもなくアザラシたちと一緒に泳いでいたら、ようやく陸に上がり、つかまえてエサをやって一安心しました。次の日から水に逃げても捕まえられることが解ったのか、無駄な抵抗はしなくなり、段々とエサを待つようにさえなりました。生後2ヵ月ほどで体重も21kgとなり、私がプールへ行くとウォーウォーとないて寄ってくるようになりました。こうして人口哺育に成功し、今では元気にプールの中で仲間と泳ぎ回っています。

(高橋)



飼育日誌

《平成2.1.15～4.21》

- 1.20 アフリカゾウしもやけとなる
- 1.21 オオヤマネコ血液検査, ワクチン接種
- 1.22 第 147回旭山動物園飼育研究会
『エゾリスの繁殖について』牧田
- 1.24 タシギ保護される
- 1.28 第 1 回冬の動物園見学会 参加者60名
今冬の最低気温-29℃を記録
- 2. 6 Zoo ガイド「福祉専門学校」
- 2. 7 エゾシカ血液検査
- 2.11 第 148回旭山動物園飼育研究会
『キリンについて』深坂
- 2.17 オオヤマネコ血液検査, ワクチン接種
- 2.25 第2回冬の動物園見学会 参加者60名
- 2.28 ボンネットモンキー闘争のため長男隔離
リクガメくちばし短切
- 3. 2 辻栄係員「ネコ科動物繁殖調査」～3.7
- 3. 8 チュウゴクオオカミ血液検査
オセロット出産-死亡
- 3.10 ヨーロッパフラミンゴ2羽,
カリガネ4羽 入園
- 3.14 第 149回旭山動物園飼育研究会
『クジャクバトについて』曾我部
- 3.15 飼育実習「教育大学附属中学校2年生」
- 3.18 Zoo ガイド「比布保健婦の会」
Zoo ガイド「こぐま保育園」
- 3.25 Zoo ガイド「のびろ保育園」
- 3.26 ワビチ舎工事～27
- 3.30 旭川のカワウソ(出自調査報告書)
北海道保健環境部より発行される
- 4. 2 アカハナグマ死亡
- 4. 4 飼育研修「旭川市採用職員」～6
- 4. 8 開園準備作業開始
- 4.12 コブハクチョウ死亡
水禽舎の水鳥全羽に対し予防投薬

●ワイズのこたえ
...タンチョウ



編集後記

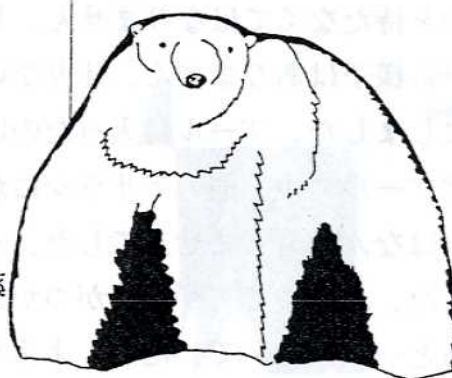
開園号をお届けいたします。

今年の冬は雪が異常に少なく、屋根の雪降しの回数も例年の半分で済みました。「こんなはずはない、きっと3月になってからドット来るぞ」という我々の勘も見事に外れ、4月には土が顔を出し、例年職員総出で掛かる水禽舎の氷割りも、3人でサラッと掃いてお終いという肩すかしを食ってしまいました。

しかし、楽あれば苦ありで、雪解け水が少なく、沢水を利用している水禽舎の大池に水がたまらず、3日ばかりでようやく水をはることができました。

今年の開園は、緑の芝生でお昼寝ができそうです。もちろん動物たちも、皆元気で暖かい春を楽しんでいます。予報ではゴールデン・ウィークに桜が咲くとのこと、春は旭山にお出掛け下さい。

本年もよろしくお願いいたします。



飼育動物数

(4月1日現在)

哺乳類	44種	221点
鳥 類	80種	442点
爬虫類	5種	34点
合 計	129種	697点



モユク・カムイ

No. 20

平成2年4月29日

発行所 旭川市旭山動物園

☎ 078 旭川市東旭川町倉沼 ☎ 0166-36-1104

発行人 菅 野 浩

編集委員 小菅正夫 阿部 寛 坂東 元